



村はひとつ 学校はひとつ 願いはひとつ

地域コミュニティを核とした
天栄だからできる少人数教育

教育委員会だより No.127

愛村心（＝尊心）を育む 天栄村！



発行：天栄村教育委員会

天栄村中学生異文化体験事業

天栄村では、心豊かなたくましい子どもを育成すると共に、高い教養と国際的な視野に立つ社会人を育成することを目的に、全小学生及び中学2年生を対象に、英語をはじめとする異文化に触れる体験事業を、ブリティッシュヒルズを会場に実施しております。今年度も、新型コロナウィルス感染症拡大防止に努めながら実施しました。

今年度、中学2年生は、1泊2日という日程で行いました。レッスンの先生は外国人。全て英語でのやりとりということで、はじめは緊張したり不安そうにしたりしていた生徒も、クイズやゲーム、お菓子作りを取り入れたレッスンを通して、次第に積極的に英語を話すようになってきました。「楽しく英語を学ぶことができた。」「よい経験になった。」の感想がたくさん見られました。



新型コロナウィルス感染症防止対策の徹底を！！

「たいお・う・し・て・マス・か」の実践

こまめな換気

天栄村小学生英検チャレンジ

今年度から、「天栄村小学生英検チャレンジ」を実施し、小学生の英語検定受検を補助しています。文化の森でんえいで行った、2月22日（土）の英検には、3級2名、5級3名が、2月5日（土）の英検 jr.には、「GOLD」3名、「SILVER」4名がチャレンジしました。みんな一生懸命取り組んでいました。



お見舞金贈呈式

1月28日（金）、2021年12月16日の台風で甚大な被害を受けたフィリピンに実家のある、本村勤務ALT、ゲイル先生とジョイス先生のお二人に、本村小中学校児童生徒から寄せられたお見舞金を贈呈しました。二人とも大変感激していました。





生涯学習事業

村民一人一人が自己の能力を高め、生きがいを持って豊かで充実した人生を送れるよう、誰もがいつでも自由に学習機会を選択できる環境を整え、「愛村心を育むふるさと教育」を目標に取り組んでいます。こうした村民の主体的な学習活動を支援し、習得した知識を地域へ還元できる人づくりを推進していきます。

○地域学校協働活動事業

1月17日（月）、広戸小学校4年生の社会科「きょう土のはってんにつくす」の学習で、大山地区在住の斎藤澄江さんを講師に、羽鳥ダム築造までの歴史や人々の苦労についての授業が行われました。今回の授業の開催にあたっては、学校よりより羽鳥ダムの歴史についてお話しいただける方はいないかという相談があり、地域学校協働活動事業の地域コーディネーターの川崎潤一さんが斎藤さんの紹介や連絡調整等を行い、授業が実施されました。

地域学校協働活動事業では、学校と地域の連携・協働体制の構築に向け、学校と地域人材のコーディネート機能の他、部活動支援や地域人材を活用した英会話教室の開催、地域人材が子ども達を見守る子ども教室の運営などを行っています。



○第68回文化財防火デー防火診断の実施

1月26日（水）全国一斉に行われる第68回文化財防火デーにかかる村内の文化財に指定された建造物の防火診断が行われました。

当時は、板宮神社（白子字中屋敷地内）、豊香島神社（飯豊字宮ノ前地内）、武隈神社（大里字宮下地内）の3箇所で、須賀川消防署長沼分署の署員、各神社の役員、村文化財保護審議会委員らの立会いの下、建物の管理状況や消火器の設置、火気の使用頻度の確認などを実施しました。



＜板宮神社＞



＜豊香島神社＞